資料８

町田市子どもの発達支援に関する意識調査

【関係機関の皆様へ（管理者）】

≪ご記入にあたって≫

- ○　回答は貴施設における子どもの発達支援の状況についてご記入ください。
- ○　回答にあたっては、2023年4月3日時点のご状況でご記入ください。
- ○　回答は、あてはまる項目の番号を〇印で囲ってください。「その他」の場合は、（　　）内にその内容などをご記入ください。

≪返送について≫

・返送方法を記載
・回収期間を記載する

貴施設の基本的な事項について

問１．貴施設の種類をお答えください。【○は一つだけ】

１．認定こども園	５．小規模保育事業所等
２．認可保育園	６．地域子育て相談センター
３．認証保育所	７．小学校
４．幼稚園	８．中学校
	９．その他（　　）

問１で「１」～「６」を選択した方にお伺いします

問２．貴施設の状況について、あてはまるものを選択・回答欄に数値をご記入ください。
※数値回答についてあてはまる生徒がいない場合は「０」とご記入ください。

①経営主体について	１．社会福祉法人などの民営	２．市営

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
②在籍している子どもの人数（全体）	人	人	人	人	人	人
③身体障害者手帳所持児童数	人	人	人	人	人	人
④愛の手帳（療育手帳）所持児童数	人	人	人	人	人	人
⑤精神障害者保健福祉手帳所持児童数	人	人	人	人	人	人
⑥障がい児等に対応する専任職員の人数	人	人	人	人	人	人

問１で「７．小学校」・「８．中学校」を選択した方にお伺いします

問３．貴施設の状況について、あてはまるものを選択・回答欄に数値をご記入ください。

※中学校の方は「４年」～「６年」の記入は不要です。

※数値回答についてあてはまる生徒がいない場合は「０」とご記入ください。

①特別支援学級の有無	１．ある	２．なし

	固定級	通級指導学級
②特別支援学級の内容	１．自閉スペクトラム症／情緒障がい ２．肢体不自由 ３．知的障がい	４．弱視 ５．難聴 ６．言語障がい ７．情緒障がい

	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生
③在籍している子どもの人数（全体）	人	人	人	人	人	人
④固定学級の児童数	人	人	人	人	人	人
⑤通級指導学級の利用生徒数	人	人	人	人	人	人
⑥身体障害者手帳所持児童数	人	人	人	人	人	人
⑦愛の手帳（療育手帳）所持児童数	人	人	人	人	人	人
⑧精神障害者保健福祉手帳所持児童数	人	人	人	人	人	人

貴施設における児童・生徒への対応状況

問４．貴施設に、気になる子はいますか。

【○は一つだけ】

１．いる
２．現在はいないが、過去３年間に在籍していたことがある
３．現在も、過去３年間も在籍していたことがない

【問４で「１．現在在籍している」を選択した方にお伺いします。】

問５．気になる特徴に「気づいたきっかけ」として、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに○】

１．保護者からの相談	５．学童保育クラブからの情報提供
２．他の児童・生徒の保護者からの相談	６．その他（　　）
３．担当外の職員・教員からの相談	７．わからない
４．健診のときの嘱託医からの情報提供	

問６．気になる子に対する貴施設の支援体制についてあてはまるものをお選びください。

【○は一つだけ】

１．全ての気になる子に支援を行っている
２．支援を行っているのは一部の子どもだけ
３．気になる子に対する支援を行っていない

【問６で「１」「２」（支援を行っている）を選択した方にお伺いします。】

問７．行っている支援内容について、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに○】

１．保護者に施設・学校での生活状況を、他の子どもよりも丁寧に伝えている
２．保護者に当該児童・生徒に適していると思われる支援制度を紹介している
３．保護者に専門機関への相談を促している
４．当該児童・生徒の担当職員を明確にしている
５．保育士・教諭から専門機関に対応方法を相談して
６．当該児童・生徒および保護者と定期的な個別面談を行っている
７．その他（　　）

【問６で「２」「３」（支援を行っていない）を選択した方にお伺いします。】

問７．支援を行っていない理由について、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに〇】

１．保護者や当該児童・生徒が、支援を必要としていない
２．個別支援の必要性を判断することが難しい
３．気になる子に対する対応・支援の方法がわからない
４．専門機関と連携をとることができない
５．対応するための人的余裕がない
６．当該児童・生徒のアセスメントが十分でない
７．その他（　　）

改めて全ての方にお伺いします

問８．貴施設では、障害者手帳等を持っている児童を受け入れる体制がありますか。

【〇は一つだけ】

１．ある	３．現在はなく、今後も整備予定はない
２．現在はないが、３年以内に整備予定	

問９．障害者手帳を持っている児童・生徒を受け入れるにあたっての課題として、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに〇】

１．対象となる児童・生徒の入園・入学の申し込みがない
２．対応・支援を実施するための人的余裕がない
３．バリアフリーなどの設備が整っていない
４．当該児童・生徒への対応・支援方法がわからない
５．他の児童・生徒への影響が想定できない
６．専門機関とのつながり・連携が十分でない
７．入園・入学前の当該児童・生徒の情報が不十分
８．その他（　　）

問10. 貴施設では、医療的ケアの必要な児童・生徒を受け入れる体制がありますか。
【○は一つだけ】

１．ある	３．現在はなく、今後も整備予定はない
２．現在はないが、３年以内に整備予定	

問11. 過去３年間の間に、医療的ケアの必要のある児童・生徒の入園・入学の申し込みがありましたか。
【○は一つだけ】

１．あった	３．わからない
２．なかった	

【問11で「１．あった」を選択した方にお伺いします。】

問12. 申し込みに対してどのように対応しましたか。【○は一つだけ】

１．全ての児童・生徒を受け入れている	３．全て断っている
２．医療的ケアの内容等で判断している	

【問12で「２．医療的ケアの内容等で判断している」を選択した方にお伺いします。】

問13. 受け入れが困難なケアの内容について、あてはまるものをお選びください。
【あてはまるもの全てに○】

１．人工呼吸器管理	８．経管（経鼻・胃ろう含む）
２．気管内挿管・気管切開	９．腸ろう・経管栄養
３．鼻咽頭エアウェイ	10．継続する透析
４．酸素吸入	11．定期導尿
５．吸引	12．人工肛門
６．吸入（ネブライザー）	14．その他（　　）
７．中心静脈栄養（IVH）	15．特にない

改めて全ての方にお伺いします

問14. 貴施設には、発達障がいの診断を受けている児童がいますか。　【○は一つだけ】

１．いる	３．いない
２．診断の有無はわからないが、特徴が合致する児童がいる	

問15. これまでの３年間に、入園・入学後に発達障がいの診断が出た児童はいましたか。
【○は一つだけ】

１．いた	２．いない

専門機関との連携状況

問16. 発達の遅れや障がいがある児童・生徒への対応について貴施設ではどのような専門機関と連携していますか。　【あてはまるもの全てに〇】

１．子ども発達センター	５．教育センター
２．大学・研究機関	６．障がい者支援センター
３．児童相談所	７．その他（　　）
４．医療機関	８．特に連携している専門機関はない
５．保健所・保健センター	

【問16で「８．特に連携している専門機関はない」と回答した方にお伺いいたします】

問17. 専門機関と<u>連携していない理由</u>として、あてはまるものをお選びください。
【あてはまるもの全てに〇】

１．対応・支援を実施するための人的余裕がない

２．連携できる専門機関が近くにない

３．どのように連携すればよいかわからない

４．特に理由はない

５．その他（　　）

６．連携しなくても自施設の職員で対応できるため

改めて全ての方にお伺いします

問18. 専門機関と連携する際に、どのような連携が必要だと思いますか。最も重要だと思うものをお選びください。　【〇は一つだけ】

１．支援計画や指導計画の作成への参加

２．保護者や家庭へのアプローチに対する助言

３．気になる特徴についての医学的・専門的な助言

４．気になる特徴に対する専門的な研修会等の実施

５．障がい等の理解のための、他児や他児の保護者への意識啓発

６．入園・入学前の支援計画とその記録の共有

７．その他（　　）

町田市の障がい児施策について

問19. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。【○はそれぞれに一つずつ】

	優先度が高い	やや優先度が高い	やや優先度が低い	優先度が低い
【記入例】 福祉サービスの情報提供の充実	1	②	3	4
福祉サービスの情報提供の充実	1	2	3	4
子どもの発達に関する相談体制の充実	1	2	3	4
相談窓口の対応力の向上	1	2	3	4
障がいや発達の遅れに関する市民の理解促進	1	2	3	4
障がいや発達の遅れに関する保護者への情報発信	1	2	3	4
保育・教育に関わる人材の対応力の向上	1	2	3	4
保育園・幼稚園等の医療的ケア児の受入強化	1	2	3	4
学校の医療的ケア児の受入強化	1	2	3	4
福祉サービス事業所の数や定員数の確保	1	2	3	4
福祉サービス事業所の職員の対応力の向上	1	2	3	4
子どもに関係する機関の連携強化	1	2	3	4
高校卒業後の居場所の確保	1	2	3	4
保護者の子育て・介護負担の軽減	1	2	3	4
きょうだい児への支援の充実	1	2	3	4
子どもが参加できる地域行事の充実	1	2	3	4
市街地や公共施設のバリアフリーの拡充	1	2	3	4
子どもの意見を踏まえたまちづくり	1	2	3	4

問20.　「子ども発達センター」は、2028年度に「教育センター」と複合化された施設へ移転する予定です。
上記の複合化された後の施設に求めるものを、下記のうちからあてはまるものすべてをお選びください。【あてはまるもの全てに〇】
※移転先は現在の「町田市教育センター（町田市木曽東　3-1-3）」であり、運営は民間活力の導入を予定しています。

１．高齢者など地域の方との繋がりがあること
２．民間事業と連携した事業が実施されること
３．対応できる職員・スタッフが充実していること
４．障がい児が利用しやすい施設環境であること
５．これまでも窓口やサービスの申請方法がわかりやすくなっていること
６．施設までの送迎サービスがあること
７．医療支援体制が充実していること
８．その他（　　）
９．特に求めるものはない

問21.　発達の遅れや障がいがある児童・生徒の保育・教育等で工夫していることやご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

調査へのご協力ありがとうございました。
〇〇月〇〇日（金）までに、同封の返信用封筒によりご返送ください。